

# チーム えがお



《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』  
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

発行者:校長 岡田 達也



えがお かがやき かんばる 学校 困うえんだん 「チーム北川」～

## 人間関係を築く力を!

近年、子どもたちの対人関係能力の低下が懸念されています。文部科学大臣の諮問により教育の在り方を審議する中央教育審議会の答申にも、自信がもてず、学習や将来の生活に対して無気力であったり、不安を感じたりしている子どもが増加するとともに、友達や仲間のことで悩むなど、人間関係の形成が困難かつ不得手になっている子どもが増えているとあります。

その理由の一つとして、「ソーシャルスキル」の未熟さがあります。ソーシャルスキルとは、円滑な対人関係を形成するために必要な「知識」と「技能」のことです。このソーシャルスキルは、学習によって身につくものであり、これまでは身近な人々との触れ合いを通して自然に学び身につけていたものです。近年よく聞く、地域社会や家族関係、子どもたちの遊びなどの変化による、人間関係の希薄化により、ソーシャルスキルを学ぶ機会が減少してきました。

こうしたことから、集団に属する子どもたちに意図的・計画的にソーシャルスキルを教育する取組が重視されるようになってきました。学校は、子どもたちによりよい人間関係をつくる力を育てて行かなければならないのです。

**あいさつのABCD**

- ①だれにでも
- ②あい手の目を見て
- ③声の大きさを考えて

実際、本校でも人間関係づくりの未熟さから、トラブルになってしまうケースも多く見受けられます。そのため、昨年度からソーシャルスキルトレーニングを少しずつ取り入れてきましたが、本年度中に全校で意図的・計画的に取り組むことができる体制を整えるために、年間の指導計画を作成しているところです。具体的には、月毎に生活テーマ(例:9月「やりぬく心」)のように、全校で取り組むソーシャルスキルを決めて、各学年の実態を踏まえて取り組みます。

9月は、2学期のスタートであり、遠足や修学旅行も近いため、「気持ちのよいあいさつ」をテーマに取り組むことにしました。月曜日のさわやかタイム(全校朝会)で全校児童に提示し、それを学級で学年の発達段階や実態に応じて深めていきます。今回、さわやかタイムで子どもたちに提示した「気持ちのよいあいさつ」のポイントは、①だれにでも、②相手の目を見て、③声の大きさを考えて、の3点です。それぞれの学級で話し合ったり、練習したりした結果、子どもたちのあいさつに変化が見られました。例えば、元気よく大きな声であいさつしたり、会釈を取り入れたり、いつでもどこでもあいさつをしたりするといった具合です。これは、担任が「知識」と「技能」の習得を意識して、各学年に応じてあいさつの意味やそのときの気持ちなどについて学習させ、そのやり方を練習し、互いにあいさつし合うことで、したときやされたときの気持ちのよさを体験させたりした結果です。



これからも、全校一斉方式によるソーシャルスキル教育に取り組んでいきます。ぜひ、ご家庭でも「あいさつ」の意味やその仕方について話題にさせていただきようお願いいたします。子どもたちは、児童会によるあいさつ運動にもさっそく取り入れて頑張っています。ソーシャルスキル教育を進めるための合言葉は、「ゆっくり 楽しく(心地よく) 続けて」とのことです。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

「緊急配信メール」への登録が少しずつ増えています。ありがとうございます!